1. インストールについて

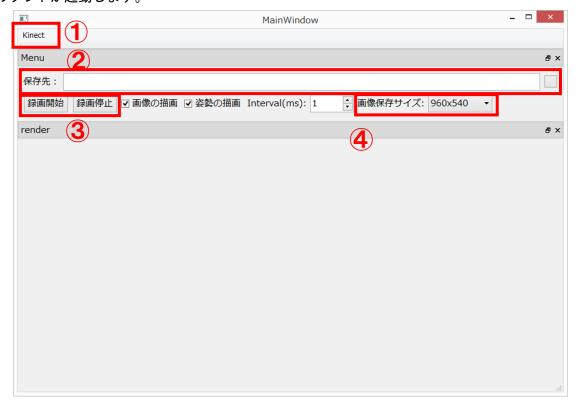
事前に、Kinect を扱うための「<u>Kinect for Windows SDK 2.0</u>」をインストールし、「Kinect Studio」などのソフトで Kinect と接続・データ取得が可能なことを確認してください。

QtKinectRecorder 自体は、特にインストール作業は必要ありません。「QtKinectRecorder」フォルダを、好きなところにおいて下さい。

ソフトを実行したときに、エラーが出る場合には、Microsoft 社の「<u>Visual Studio 2015 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ</u>」をインストールする必要があります。同梱の「vc_redist.x64.exe」を実行して適宜インストールして下さい。

2. QtKinectRecorder の使い方

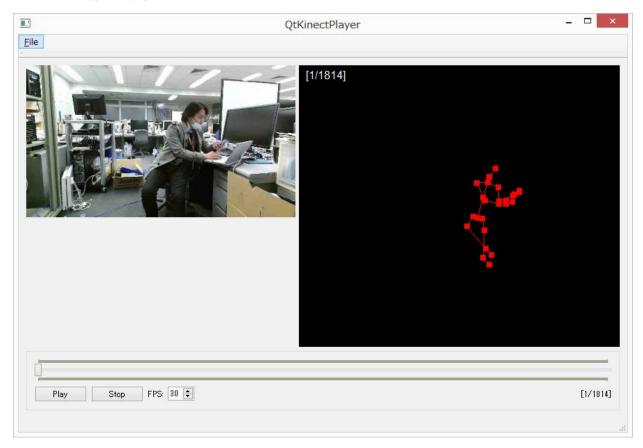
「QtKinectRecorder」フォルダ内の「QtKinectRecorder_V4.exe」を実行してソフトを起動してください。以下のソフトが起動します。



- ① Kinect メニューから「Start Capture」を選択すると、Kinect からデータを取得開始します。この時点では、データの保存はしていません。
- ② 右端にあるボタンを押して、データを保存する先を指定します。データ記録開始をすると、指定フォルダの下に1から順に連番でフォルダを作成し、その中にカラー画像データ、デプスデータ、姿勢データを保存します。
- ③ 「録画開始」ボタンを押すと、記録開始します。「録画停止」ボタンを押すと、記録を終了します。録画中に、ファイルへのデータ保存が間に合わなかった場合、「録画停止」ボタンを押した後に、メモリ上に溜まっているデータを保存する仕組みになっており、その場合、プログレスバーが表示されます。その場合は、プログレスバーが消えるまで待ってから次の録画を開始して下さい。
- ④ 保存するカラー画像データのサイズを変更できます。
- ※「Interval(ms)」は、このバージョンのソフトでは使えないので、無視して下さい。

3. QtKinectPlayer の使い方

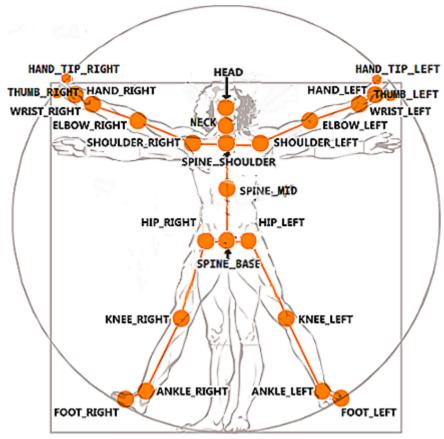
「QtKinectRecorder」フォルダ内の「QtKinectPlayer.exe」を実行してソフトを起動してください。以下のソフトが起動します。



- ① Fileメニューから「Open Data Dir」を選択します。
- ② フォルダを指定するウィンドウが表示されますので、「jpg」「depth」「pos」の3つのフォルダがあるフォルダを選択してください。
- ③ 読み込みが開始されますので、しばらくお待ちください。プログレスバーが消えましたら、読み込みが 完了です。
- ④ 「Play」「Stop」で動画のように再生・停止ができます。スライダーを移動させて、データを見ることも可能です。姿勢データについては、以下の操作で視点を変えてみることができます。
 - ・マウスの左ボタンを押したまま動かすことで、姿勢の腰関節を中心に回転
 - ・マウスホイールの回転で、拡大・縮小
 - ・マウスホイールを押したまま動かすことで、上下左右の移動
 - ・hキーを押すことで、初期の視点に戻すことができます。

4. 関節位置データ (pos.csv) について

CSV は、1 列目は認識した人の ID、2 列目はフレーム番号、3 列目以降は、以下の関節の順番に X, Y, Z の値が並んでいます。



- SPINE_BASE
- 2. SPINE_MID
- 3. NECK
- 4. HEAD
- 5. SHOULDER_LEFT
- 6. ELBOW_LEFT
- 7. WRIST_LEFT
- 8. HAND_LEFT
- 9. SHOULDER_RIGHT
- 10. ELBOW_RIGHT
- 11. WRIST_RIGHT
- 12. HAND_RIGHT
- 13. HIP_LEFT
- 14. KNEE_LEFT
- 15. ANKLE LEFT
- 16. FOOT_LEFT
- 17. HIP_RIGHT

- 18. KNEE_RIGHT
- 19. ANKLE_RIGHT
- 20. FOOT_RIGHT
- 21. SPINE_SHOULDER
- 22. HAND_TIP_LEFT
- 23. THUMB LEFT
- 24. HAND_TIP_RIGHT
- 25. THUMB RIGHT